

レタス*1(野菜類、レタス類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用 機構 分類 コード	人 畜 毒 性	使 用 時 期 (日 数)	使 用 回 数	使 用 条 件	ベ ト 病	灰 色 か び 病	菌 核 病	す そ 枯 病	白 絹 病	腐 敗 病	斑 点 細 菌 病	軟 腐 病	ビ ン グ ベ イ ン 病
Zボルドー水	M1		-	-							◎			
ドイツボルドーA水	M1		-	-							◎	◎		
ベニドー水	M1		-	-							◎	◎	◎	
マスターピース水	NC		1	-							◎	◎	◎	
ジーファイン水	M1・NC		1	-							◎			
スターナ水	31		7	2							◎	◎	◎	
トップジンM水㊦	1		7	2			◎	◎	◎					◎
			45	1	灌			◎						
ベンレート水㊧	1		14	4			◎	◎	◎					
エトフィンFL	22		1	3		◎								
アフエットFL	7		1	3			◎	◎	◎	◎				
カンタスDF	7		7	2			◎	◎						
ケンジャFL	7		1	3			◎	◎						
バシタック水75	7		*c	3					◎					
パレード20FL	7		*f	1	☆			◎	◎					
			1	3			◎	◎	◎					
モンカットFL40	7		7	3					◎	◎				
アミスター-20FL	11		7	4		◎	◎	◎	◎					◎
			30	2										
ファンタジスタ顆水	11		3	3			◎	◎	◎					
メジャーFL	11		3	3		◎	◎	◎	◎					
ライメイFL	21		3	3		◎								
ランマンFL	21		3	3		◎								
フロンサイドSC	29		*e	1					◎				◎	◎
フロンサイド粉	29		*b	1					◎					◎
アグレプト液	25		14	2							◎			
スミレックス水	2		7	5			◎	◎						
ロブラール水	2		14	3			◎	◎	◎					
リゾレックス水	14		7	3					◎	◎				
プレビクールN液	28		14	3		◎								
ベジターボDF	19		14	3			◎		◎					
ポリオキシシンAL溶	19		14	3				◎						
レーバスFL	40		7	3		◎								
オリゼメート粒	P2		*a	1							◎	◎		
ネビジン粉	36		*e	1				◎						
ピシロックFL	U17		1	3		◎								

レ
タ
ス

レタス*1(野菜類、レタス類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機構分類コード	人畜毒性	使用時期(日数)	使用回数	使用条件	べと病	灰色かび病	菌核病	すす枯病	白絹病	腐敗病	斑点細菌病	軟腐病	ビッグベイン病
バリダシン液5	U18		1	3					○		○		○	
キノンドー水40	M1		21	5		○					○	○	○	
ヨネボン水	M1		14	4		○					○	○	○	
ダコニール1000FL	M5		14 42	3 2		○	○		○					○
ベルコート水	M7		14	3			○	○						
フォリオゴールドFL	4・M5		14	3		○								
カセット水	31・24		7	2							○	○	○	
ソタールWDG	31・14		7	2					○		○		○	
ナレート水	31・M1		21	2		○			○		○	○	○	
ゲッター水㊦	1・10		7	2			○	○						
ニマイパー水㊦	1・10		14	3			○	○						
ダコレート水㊦	1・M5		14	3		○	○		○					
スミブレンド水	10・2		7	5			○	○						
ジャストフィットFL	43・40		*g 1	1 2	☆	○								
シグナムWDG	7・11		7	2		○	○	○	○					
ベジセイバーFL	7・M5		14	3		○	○	○	○					
ゾーバックエンカンティアSE	11・49		7	2		○								
ドーシャスFL	21・M5		14	3		○			○					
ザンプロDMFL	45・40		3	3		○								
カスミンボルドー水	24・M1		7	4							○	○		
アグリマイシン-100水	25・41		14	2							○			
ゾーバックエンテクタSE	49・21		3	2		○								
フェスティバルC水	40・M1		3	3		○								
カーニバル水	40・M5		14	3		○			○					
シトラノーFL	M1・M5		21	3		○			○		○		○	

㊦:チオファネートメチル含有剤 ㊦:ベニル含有剤 ㊦を使用した場合には同じ作での㊦は使用しないこと。その逆も同様(種子への処理及び塗布処理を除く、詳細はp. 856参照)。*1:レタスと非結球レタスは使用できる農薬が異なる。

*a:定植時 *b:播種又は定植前 *c:結球開始期まで(但し収穫30日前まで)

*e:定植前 *f:育苗期後半～定植当日 *g:定植前日～定植当日

灌:灌注処理

☆:セル成型育苗トレイまたはペーパーポットで育苗している苗に灌注処理する。

レ
タ
ス

レタス*1 (野菜類、レタス類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機 構分類 コード	人畜 毒 性	使用 時期 (日数)	使 用 回 数	使 用 条 件	ア ブ ラ ム シ 類	ア ザ ミ ウ マ 類	ヒ メ フ タ テ ン ヨ コ バ イ	ハ モ グ リ バ エ 類	ヨ ト ウ ム シ	ハ ス モ ン ヨ ト ウ	シ ロ イ チ モ ジ ヨ ト ウ	オ オ タ バ コ ガ 類	ウ ワ バ 類	ネ キ リ ム シ 類	コ ガ ネ ム シ 類 幼 虫	カ タ ツ ム リ 類	ナ メ ク ジ 類	ネ グ サ レ セ ン チ ユ ウ	ネ コ ブ セ ン チ ユ ウ	そ の 他 害 虫
スピノエース顆水	5		*b 3	1 3	☆				◎				◎								
スラゴ粒*2	UN		*f j	-													◎	◎			
ボタニガードES	-		*g	-									◎								
バイデートL粒	1A	劇	*b	1																◎	◎
オルトラン水	1B		*b	3		◎	◎			◎			◎								
カルホス微粒F	1B	劇	*a	2											◎						
ジェイエース溶	1B		*a	3						◎	◎	◎									
ダイアジノン粒5	1B		*a	2											◎	◎					ケ
ネキリエースK粒	1B		*j	2											◎						
ネマキック粒	1B		*b	1																◎	
マラソン乳	1B		3	5																	
アグロスリン水	3A	劇	7	5		◎															
アディオン乳	3A		3	5		◎				◎											
ガードバイトA粒	3A		*o	5											◎						
スカウトFL	3A	劇	1	3		◎															
トレボン乳	3A		14	3		◎															
フォース粒	3A	劇	*b	1											◎						コ
マブリック水20	3A	劇	7	2		◎															
アクタラ粒5	4A		*c *h	1		◎			ナ ナ												
アクタラ顆溶	4A		7	2		◎															
アドマイヤー顆水	4A	劇	3	2		◎															
アドマイヤーFL	4A	劇	3	2		◎															
アドマイヤー1粒	4A		*c	1		◎															
アルバリン顆溶	4A		3	2		◎															
スタークル顆溶	4A		*L	1	☆	◎			ナ		◎										
アルバリン粒	4A		*h	1	★				ナ												
スタークル粒	4A		*c *d	1		◎			ナ ナ												
ダントツ溶	4A		1	2		◎	◎		ナ												
ダントツ粒	4A		*c *d	1	△	◎	◎														
ベストガード溶	4A		3	3		◎															
ベストガード粒	4A		*c *i	1	△	◎	◎		ナ												
モスピラン顆溶	4A	劇	1	3		◎			ナ												
モスピラン粒	4A		*e	1		◎			ナ	◎			◎								
トランスフォームFL	4C		1	3		◎															
ディアナSC	5		1	2		◎		◎	◎	◎	◎		◎								

レ
タ
ス

レタス*1 (野菜類、レタス類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機構分類コード	人畜毒性	使用時期(回数)	使用回数	使用条件	アブラムシ類	アザミウマ類	ヒメフタテンヨコバイ	ハモグリバエ類	ヨトウシ	ハスモンヨトウ	シロイチモジヨトウ	オオタバコガ	ウワバ	ネキリムシ類	コガネムシ類	カタツムリ類	ナメクジ類	ネグサレセンチュウ	ネコブセンチュウ	その他害虫
アニキ乳	6		3	3						◎	◎	◎									
アフーム乳	6		3	3					ナ	◎	◎										
マイキラーFL	8	劇	14	3													◎	◎			
コルト顆水	9B		1	3		◎															
コテツFL	13	劇	1	2					ナ	◎	◎		◎								
バダンSG溶	14	劇	14	3		◎			◎										◎		
リーフガード顆水	14	劇	7	2		◎	◎		ナ										◎		
アタブロン乳	15		3	2							◎										
カウンター乳	15		3	3									◎								
カスケード乳	15		3	3						◎	◎	◎									
ノーモルト乳	15		3	2							◎										
マッチ乳	15		3	3									◎								
ファルコンFL	18		3	2							◎	◎									
ロムダンFL	18		1	2							◎	◎									
マトリックFL	18		7	3							◎	◎									
ハチハチFL	21A	劇	14	2		◎		◎	ナ										◎		
トルネードエースDF	22A		7	2						◎	◎	◎	◎	◎							
ファイントリムDF	22A		7	2						◎	◎	◎	◎	◎							
アクセルFL	22B		1	3							◎	◎									
アクセルバイト粒	22B		1	3											◎						
モベントFL	23		7	3		◎	◎														
フェニックス顆水	28		1	2						◎	◎	◎	◎								
ブリロッソ粒	28		*m *k	1	△	◎			◎				◎								
ブレバソンFL 5	28		*m 1	1 3	☆			◎	◎	◎	◎	◎	◎		◎						
ブレバソン粒	28		*m *k	1	△				ナ				◎								
ベネビアOD	28		1	3		◎			◎	◎	◎	◎	◎	◎							
バリマークSC	28		*m *p	1 1	☆	◎		◎	◎		◎	◎	◎	◎							コ
ヨーバルFL	28		1 *m	3 1		◎			◎	◎	◎	◎	◎	◎							
ウララDF	29		1	2		◎															
グレーシア乳	30		3	2			◎		ナ	◎	◎	◎	◎								
プロフレアSC	30		1	3						◎	◎	◎	◎	◎							
プレオFL	UN		7	2			◎		ナ	◎	◎	◎									
キックオフ顆水	28・4A		*L *m	1 1	☆	◎			ナ	◎	◎	◎	◎								カ
ジュリポFL	4A・28		*m 7	1 2	☆	◎		◎	ナ	◎	◎	◎	◎								
ハクサップ水	1B・3A	劇	3	2		◎							◎								

レ
タ
ス

レタス*1 (野菜類、レタス類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機構分類コード	人畜毒害性	使用時期(回数)	使用回数	使用条件	アブラムシ類	アザミウマ類	ヒメフタテンヨコバイ	ハモグリバエ類	ヨトウムシ	ハスモンヨトウ	シロイチモジヨトウ	オオタバコガ	ウワバ	ネキリムシ類	コガネムシ類	カタツムリ類	ナメクジ類	ネグサレセンチュウ	ネコブセンチュウ	その他害虫
アフームエクセラ顆水	6・15		3	3						ナ			◎								
ナメクリーン3			14	2															両		
ナメトックスハウス	-		*f	6															◎		

*1:レタスと非結球レタスは使用できる農薬が異なる

*2:「ナメクジ類、カタツムリ類、アフリカマイマイ、ヒメリンゴマイマイが加害する農作物等」での登録

*a:播種時又は定植時 *b:定植前 *c:育苗期後半 *d:定植時 *e:定植前日～定植当日

*f:発生時 *g:発生初期 *h:播種前 *i:播種時 *j:播種時又は定植時～生育初期(但し収穫21日前まで) *k:育苗期後半～定植時 *l:定植前日～定植時 *m:育苗期後半～定植当日 *o:生育初期

カ:カブラヤガ ケ:ケラ コ:コオロギ類 ナ:ナモグリバエ 両:カタツムリ類とナメクジ類の登録 *p:定植当日

☆:セル成型育苗トレイ又はペーパーポットで育苗している苗に灌水処理する。

★:培土に混和する。

△:セル成型育苗トレイ又はペーパーポットの上から均一に散布する。

レタス*1(野菜類、レタス類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
べと病	播種前	1. 密植を避け、通風をよくし、排水を良好にする。 2. 肥切れや窒素過多にならないように注意する。	冷涼多湿条件で発生するので、秋～春にかけての栽培は注意する。
	生育期	・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 ダコニール1000(FL) 1000倍 ランマンフロアブル 2000倍	
灰色かび病	生育期	1. ハウス、トンネル栽培では換気に留意し、多湿とならないようにする。 2. 灌水は茎葉に直接かけると発生を助長する。 3. 発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 ゲッター水和剤㊟● 1500倍 スミレックス水和剤● 1000～2000倍 トップジンM水和剤㊟● 1500～2000倍 ベルコート水和剤 1000～2000倍 ロブラール水和剤● 1000～1500倍 4. 発病株は抜きとって土中に埋める。	比較的低温で多湿のときに発生しやすい。11～4月に雨が続けると急激に発生する。 一般にハウス、トンネル栽培で、また密植すると多発しやすい。 ●耐性菌を生じるおそれがあるので連用しない。
腐敗病・斑点細菌病	育苗期～生育期	1. 定植時に次の薬剤を土壌処理する。 オリゼメート粒剤△ 6～9kg/10a 2. 次の薬剤のいずれかを散布し予防する。 カスミンボルドー(水) 1000倍 カセット水和剤 1000倍 ナレート水和剤 1000倍 ドイツボルドーA(水) 500～1000倍 3. 凍霜害やその他の傷をつけないようにする。	斑点細菌病は晩秋と早春に発生が多く、葉縁に淡黒色のV字型斑を生ずる。 腐敗病は外葉全体が腐敗し、乾燥するとノリ状または油紙のようになる。 △オリゼメートは使用方法を誤ると、葉が黄化したり、生育遅延することがあるので注意する。

*1:レタスと非結球レタスは使用できる農薬が異なる。

レタス*1(野菜類、レタス類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
菌核病	生育期	<ol style="list-style-type: none"> ハウスやトンネル栽培では換気に留意し、高温多湿にならないようにする。 マルチ栽培を行う。 発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アミスター20フロアブル 2000倍 スミレックス水和剤 1000～2000倍 トップジンM水和剤① 1500～2000倍 ベルコート水和剤 1000～2000倍 ロブラール水和剤 1000倍 被害株は見つけ次第抜きとり土中深くに埋没する。 収穫後の切り株はすみやかにとり除き、圃場衛生につとめる。 	ビニールハウスやトンネルでは晩秋から初冬あるいは春先に発生が多い。 土壌中に残った菌核が伝染源となる。菌核は薬剤や堆肥化するときの発酵熱にも強いので、圃場内に残さないようにする。
すそ枯病	播種または定植前	<ol style="list-style-type: none"> 多発畑では苗床および本畑を土壌消毒する(土壌消毒の項参照)。 次の薬剤を全面土壌混和する。 フロンサイド粉剤 30kg/10a 排水不良畑で発生が多いので畑の周囲に溝を掘るなどして排水を良好にする。 	本病はリゾクトニア菌による。
	生育期	・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 ダコニール1000(FL) 1000倍 バシタック水和剤75 500～1000倍 モンカットフロアブル40 1000～2000倍 リゾレックス水和剤 1000倍 ロブラール水和剤 1000倍	
軟腐病	播種または定植前	<ol style="list-style-type: none"> 春～初夏どりで多発するところは12～2月の冬どり栽培を行う。 低湿地では排水を良好にする。 	ほとんどの野菜類に発生する病害で、病原細菌は土壌中で越冬し傷口から侵入する。 真冬を除いて発生するが、初夏～初秋までの気温の高い時期に発生しやすい。 結球期以後の中耕除草は根を切ったり葉を傷つけ、発生を助長する。
	生育期	<ol style="list-style-type: none"> 根や地際部を加害するヨトウムシ、ナメクジなどを防除する。 発生が認められたら次の薬剤のいずれかを散布する。 カセット水和剤 1000倍 キノンドー水和剤40 600倍 ナレート水和剤 1000倍 バリダシン液剤5 800倍 ヨネポン水和剤 500倍 	

*1:レタスと非結球レタスは使用できる農薬が異なる。

レタス*1(野菜類、レタス類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
モザイク病	育苗期	1. 苗床は寒冷紗などで被覆栽培する。 2. 発病株は見つけ次第抜き捨てる。 3. アブラムシ類を防除する(アブラムシ類の項参照)。	レタスモザイクウイルスとキュウリモザイクウイルスによっておこる。 レタスモザイクウイルスはアブラムシのほか種子によって伝染する。
	定植後	・発病株は見つけ次第すみやかに抜き捨てる。	
アブラムシ類	育苗期	・苗床は寒冷紗で被覆する。	
	生育期	・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アディオオン乳剤 2000～3000倍 アドマイヤーフロアブル 4000倍 ウララDF 2000倍 マラソン乳剤 2000～3000倍 モスピラン顆粒水溶剤 2000～4000倍	
ナモグリバエ	播種前	・次の薬剤のいずれかを培土に混和する。 アルバリン粒剤 15g/培土10 スタークル粒剤 15g/培土10	#ハモグリバエ類での登録
	育苗期後半～定植時	1. 次の薬剤のいずれかを株元に散布する。 アクタラ粒剤5 育苗期後半 0.5g/株 ベストガード粒剤 育苗期後半 0.5～1g/株 モスピラン粒剤 定植前日～定植当日 0.5g/株 2. 次の薬剤を灌注処理する。 プレバゾンフロアブル5 #、#1 育苗期後半～定植当日 100倍	#1セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊(約30×60cm、使用土壌約1.5～4l)あたり0.5l。土耕の育苗床では使用できない。
	生育期	・次の薬剤のいずれかを散布する。 アフーム乳剤 1000～2000倍 ディアナSC # 2500～5000倍 コテツフロアブル 2000倍 ノーモルト乳剤 2000倍 ファルコンフロアブル 2000～4000倍 フェニックス顆粒水和剤 2000～4000倍	
ハスモンヨトウ	生育期	・次の薬剤のいずれかを散布する。 コテツフロアブル 2000倍 ノーモルト乳剤 2000倍 ファルコンフロアブル 2000～4000倍 フェニックス顆粒水和剤 2000～4000倍	

*1:レタスと非結球レタスは使用できる農薬が異なる。

レタス*¹(野菜類、レタス類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
オオタバコガ	生育期	<ul style="list-style-type: none"> 発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アフーム乳剤 1000～2000倍 エスマルクDF* 1000倍 ファルコンフロアブル 2000～4000倍 フェニックス顆粒水和剤 2000～4000倍 	*野菜類での登録
ネキリムシ	播種時又は定植時	<ul style="list-style-type: none"> 次の薬剤を施用し土壌に混和する。 ダイアジノン粒剤5 4～6kg/10 a 	
	定植後	<ul style="list-style-type: none"> 茎葉の被害が見られた場合は、株元の土を調べ幼虫を捕殺する。 次の薬剤を株元に散布する(生育初期)。 ガードベイトA(粒) 3kg/10 a 	
ナメクジ類	生育期	<ul style="list-style-type: none"> 次の薬剤を散布する。 パダンSG水溶剤 1500倍 	
	発生時	<ul style="list-style-type: none"> 次の薬剤を発生あるいは被害が見られた場所又は株元に配置する。 スラゴ 1～5g/m² 	
ネグサレセンチュウ・ネコブセンチュウ	定植前	<ul style="list-style-type: none"> 次の薬剤を全面土壌混和する。 バイデートL粒剤 40～50kg/10 a 	
その他の病害虫		株枯病、タネバエ、ヤサイゾウムシ	

*1:レタスと非結球レタスは使用できる農薬が異なる。